



THE Y'S MEN'S CLUB OF IBARAKI

CHARTERED 2006



茨城ワイズメンズクラブ
2016年度~2017年度
4月報 Vor. 104
強調月間テーマ

国際会長主題 : 私たちの未来は、今日より始まる
アジア地域会長主題 : ワイズ運動を尊重しよう
東日本区理事主題 : 明日に向かって、今日動こう
関東東部部長主題 : 組み合わせられ、結び合わされて、造り上げられてゆく
茨城ワイズ会長主題 : 「ワイズを楽しもう、輪を広げよう。」

BF・メネット

4月例会プログラム

と き : 2017年4月14日(金)

19:00~21:00

と ころ : YMCA 会館新館 3階

司会 土谷 明男

開会挨拶と点鐘

会長 稲本 修一

ワイズソング

ワイズ信条

- 1 自分を愛するように
隣人(りんじん)を愛そう
- 1 青少年のために YMCAに尽くそう
- 1 世界的視野をもって
国際親善をはかろう
- 1 義務を果たしてこそ
権利が生ずることをさとう
- 1 会合には出席第一
社会には奉仕第一を旨としよう

熊谷ワイズ 入会式

今月の聖句・食前感謝

片山 啓

卓話 「フィリピンワークキャンプ報告」

ゲストスピーカー

田島 亮雅(わかリーダー)
和田 南(らっぴーリーダー)
久米 あゆみ(ライスリーダー)

ハッピーバースデー&おめでとう結婚記念日

スマイル

柳瀬 久美子

茨城YMCA報告

和田 賢一

報告と協議

閉会挨拶と点鐘

会長 稲本 修一

今月の聖句

「まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みをになった。
だが、私たちは思った。彼は罰せられ、神に打たれ、苦しめられ
たのだと。」 イザヤ書 53章4節

巻頭言 土谷 明男

"Youth is not a time of life-it is a state of mind"

これは日本の戦後占領時代の連合国最高司令官ダグラス・マッカーサーの座右の銘としていた、サミュエル・ウルマンの「青春」の詩の序文です。日本語訳では「青春とは人生の一時期ではなく心のあり方である」とウルマン氏は「青春」について語ります。

彼はユダヤ系ドイツ人であったため迫害を恐れアメリカに渡ります。彼の80歳の記念に自費出版した「80歳の歳月の高見にて」にあります。"YOUTH"はとても有名です。

ウルマンは言います。「人間は年齢を重ねたときが老いるのではない。理想を失くした時に老いるのである」と。さらに「希望ある限り人間は若く、失望とともに老いるのである」と。ちなみにこの詩を愛した御仁に一代でパナソニックを築き上げた経営の神様の異名をとる松下幸之助氏がおります。

さて、茨城ワイズ次期会長に指名され、3月4日から2日間東山荘において「次期会長・部役員研修会」がありました。経験の浅い私にはこの役職はとても力の及ばないものであります。

ここにワイズ勉強不足の私が確認することがあります。それはワイズメンズクラブはYMCAを通して地域社会に奉仕するサービスクラブであること。YMCAへの奉仕、支援はワイズメンズクラブの最も重要な目的であること。

ではYMCAの理想とはなんだろうか。このテーマを自分自身が最も確認しなければいけないことであります。

「すべての命のかけがえのないものを守り育てることそして喜び共に痛みを分かち合う社会を目指すこと」

これらを具現化した言葉が茨城YMCAのテーマ「君がいてうれしい」とともに歩むfamily-YMCAであることに恥ずかしなから気がついた次第です。

ワイズメンズクラブはYMCAの働きと共に働き、物心両面で支援するのが大きな目的です。つまりYMCAの「お兄ちゃん」として支援することが第一の目的でなくてはいけません。次年度の私の目標は茨城ワイズをYMCAのお兄ちゃんとして何ができるのか。微力ながらその支援を目標して日々の活動に努力したいと考えております。

【 茨城ワイズ 3月例会報告 】

3月31日に例会を実施いたしました。前月に引き続き多数のメンバーが顔を合わせました。プログラムとしては、長年茨城YMCAをICTの面からサポートして下さった熊谷 光彦氏による卓話を、「霞ヶ浦のアオコ」を主題として行っていただきました。常日頃から身近に接しているはずの霞ヶ浦について、違った切り口から興味深い話を聞くことができました。

また、スマイルでは、地元牛久市出身の稀勢の里の感動的な逆転優勝、ワイズメンバーの娘さんの留学でのエピソードなど、色とりどりの話題で盛り上がる事ができました。渡米しての手術を目指す稲本会長のお孫さんの経過を伺うことができました。

その後以下の件につき報告と協議を行いました。
 ◆4月15日関東東部第3回評議会&次期クラブ役員研修会
 ◆次年度に向けた、会員増強について

3月例会の様様



3月 例会報告	
出席者 会員	8名
メネット	0名
スタッフ	1名
リーダー	0名
ゲスト	1名
出席総数	10名
在籍者会員数	14名
会員出席率	57%

2016-17年度3月会計報告		会計：中村 正
	前月より繰越金	86,334
当月収入	会費	32,000
	スマイル (3か月分)	7,000
	食事 (3か月分)	14,000
当月支出	卓話者謝礼	5,000
	東日本区各種献金	68,000
	残金	66,334

ワイズの目的は『YMCAの活動を支援する』となっております。その1つとしてYMCA維持会員になっていただいております。まだ維持会員登録をされていない方は、和田までお申し出下さい。YMCAは会員団体であり、YMCAは会員に支えられ地域に根ざした活動を展開しております。維持会員とは、YMCAの使命に賛同し、その運動に主体的に参加し、YMCAの維持、発展に寄与することを願う会員です。

茨城YMCA 報告 和田 賢一

〈3月の報告〉

- 1日～3日 東日本区総主事会議
- 4日 みどりのセンター新入生オリエンテーション
- 4日 障がい児・者自立支援活動たんぽぽクラブ
- 5日 高学年定例野外活動トムソーヤ
- 6日 早天祈祷会
- 6日 主任会
- 7日～8日 スキーキャンプリーダートレーニング
- 11日 チャリティーバザー
- 11日 主任会
- 12日 春スキーキャンプ顔合わせ会
- 13日 外部児童館職員研修講師派遣
- 15日 幼保園3学期終了
- 17日 幼保園新園児1日保育
- 18日 定例野外活動ユースクラブ
- 18日 牛久センター学童新入生オリエンテーション
- 20日 小学生定例野外活動わいっこクラブ
- 21日 職員会
- 25日～ 学童スプリングスクール開始
- 26日～29日 春スキーキャンプ

〈4月の予定〉

- 3日 早天祈祷会
- 8日 学童スタッフ研修
- 10日 幼保園入園・進級式
- 15日 春スキーキャンプ思い出会
- 15日 障がい児・者自立支援活動たんぽぽクラブ
- 15日 東日本区理事総主事研修会
- 16日 かすみがうらマラソンスタッフ派遣
- 23日 つくばバプテスト教会総会ナースリースタッフ派遣
- 23日 高学年定例野外活動トムソーヤ
- 24日 理事会
- 24日 筑波学院大学 OCP 説明会
- 25日 全国総主事会議
- 28日 牛久センター運営委員会
- 29日 小学生定例野外活動わいっこクラブ
- 30日 定例野外活動ユースクラブ
- 30日 4・5歳児定例野外活動わんぱくクラブ

【 編集後記 】

桜が咲きましたが、寒の戻りとでも言うべき肌寒い日が続いています。雨の週末も多く、本格的な春の到来は今週末くらいからになるのでしょうか。

最近、運命としか言いようのない偶然に出会うことがいくつもありました。ささいなものでは、歌をロずさみながら道を歩いていたら店の軒先の有線から同じメロディーが流れてきたり、旧知の方と仕事上で思わぬ再開をしたり、弟一家が至近距離に引っ越してきたり、運命やできごとには全て意味がある、という言葉を身にしみてかみしめる日々です。 書記 村田 淳

(左)新潟のソースかつ丼
この日の上越は雪でした。
(右)地元で新しくオープンした店。通いつめそうです。

